

# 持続可能な社会の実現に デジタルで貢献

新型コロナウイルス感染症が、いまだに世界中で猛威を振るっております。新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまとご家族および関係者の皆さまにお見舞い申し上げますと共に、不幸にもお亡くなりになりました方々に心よりご冥福をお祈り申し上げます。また、世界各地で感染拡大防止にご尽力されている皆さまには深く感謝申し上げます。

現在、世界中で人々の生活や社会に大きなパラダイムシフトが起きようとしています。感染拡大防止と経済活動の維持・拡大を両立させるため、都市インフラやサプライチェーン、生活・働き方が大きく見直され、遠隔医療・教育や、在宅・テレワーク、電子申請など、デジタルの果たす役割がますます重要になってきました。

日立は1910年の創業以来、「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」という企業理念を実践し続けてきました。近年、デジタル技術の進展で社会やビジネスが生み出すデータが加速度的に増え続ける中、これらデータを新しい価値の源泉ととらえ、さまざまな事業分野のお客様とともに価値を協創する社会イノベーション事業に注力し、デジタル技術を核としたサービスビジネスへと舵を切っています。データを活用し、お客様やパートナーと一緒に価値を協創するための基盤となるのがLumadaです。Lumadaには、協創を支援するためのデジタルツールや多岐にわたる業種・業務ノウハウ、これまで日立がお客様に寄り添うことで磨き上げてきた「OT × IT × プロダクト」の“現場知”が、ユースケースとして凝縮され、多くのお客様にも再利用が可能な形で整理されています。またLumadaはオープンなアーキテクチャで構成されており、他のプラットフォーム、システムとの連携が容易なので、幅広い分野のお客様やパートナーとエコシステムを形成して、新しいソリューションを協創していくことができます。

本号では、デジタルソリューションの開発・協創を支えるデジタルプラットフォームLumadaとその応用について紹介します。オープンなプラットフォームというLumadaを活用し、日立はデジタル技術を核としたイノベーションで、お客様やパートナーと知恵を出し合っ



日立製作所 執行役員副社長

**塩塚 啓一**